

図書館だより



第50号
令和5年1月26日発行

鹿児島純心女子短期大学図書館
KAGOSHIMA Immaculate Heart college LIBRARY

■ 巻頭言

「神のこと」，「人のこと」

図書館長 佐々木 亘 (哲学, 経済学, 宗教思想)



皆さん、こんにちは。魔法使い養成高等研究教育機関、サ・ワタール学園校長のサ^{サキ}・ワタールです。純短祭では楽しんでいただけましたか？では、ここから「まじめモード」。最近とても気になる聖書の個所が、マタイ16²¹⁻²³です。イエスが、自分は多くの苦しみを受けて殺され、三日目の復活することを弟子たちに予告した際、ペトロが「とんでもない」といさめる場面。イエスはペトロを、「サタン、引き下がれ。あなたは私の邪魔をする者だ。神のことを思わず、人のことを思っている。」と叱責します。サタンと呼ばれてペトロはさぞかし驚き、悲しんだことでしょう。

ここでの「神のこと」と「人のこと」とは、何を意味しているのでしょうか。ヒントはこの直前の個所に。イエスから「あなたがたは私を何者だと言うのか」と問われたペトロは、「あなたはメシア、生ける神の子です」と答え、イエスは「あなたは幸いだ」として、ペトロに天の国の鍵を授けます(マタイ16¹⁵⁻¹⁹)。おそらくペトロの言葉に偽りはないでしょう。しかし、彼にとってのメシアは、彼が見た「人のこと」で、この世を超越するような存在ではなかった。ですから、メシアが人類の贖罪のために十字架にかけられて死に、三日目に復活して死に勝利するという「神のこと」を思い描くことはできませんでした。まあ、無理もない。結局、この誤解は復活されたイエスに会うまで解消されません。イエスが逮捕された時、弟子たちはみな逃げ出し(マルコ14⁵⁰⁻⁵²)、さらにペトロは、大祭司の家の中庭で、イエスを三度知らないと否定しました(ルカ20⁵⁴⁻⁶²)。

私たちはつい自分を人と比べ、人の目を気にして、目に見える結果に一喜一憂してしまいがちですが、しかし、これらはみな「人のこと」でしょう。では、「神のこと」とは何？神の計画？それは神にとっての「神のこと」であり、人間が前もって知ることは不可能ですし、救いの歴史を振り返っていくらか推察できるにすぎません。しかし、人間が勉強したり、仕事をしたり、家族を持つことは「人のこと」だけでしょうか？いいえ、これらの行為は「神のこと」としての意味も持っています。

私が長年研究しているトマス・アクィナスの、主著である『神学大全』は、三部構成で、全体の半分以上を占める長大な第二部では、「神への運動」として人間の倫理が問われています。彼はなぜそこまで倫理を問題にしたのでしょうか？それは、私たちの行為が、その行為が自分の主権のもとに、つまり自分の意志でなされる限り、「神への運動」という観点からは「神のこと」になるからです。たとえば、日々のちょっとした挨拶などは、とても些細なことですが、その行為で共同体は良く保たれる以上、それは立派な「神のこと」です。私たちの一つ一つの行為が神につながり得る意味を持っています。皆さん、「神のこと」を思いながら、「幸せになる義務」をとことん果たしてまいりましょう。

●G2A pingens picturam ●

作画：川枝みずほ、彩色：高橋千夏・坂口くるみ・竹内菜々星・永崎愛海・中俣実莉

むかしむかしの…

食物栄養専攻 教授 榎 順子 (栄養教育)



小さな頃から本好きで、さらに、言葉の響きを楽しみながら「語り」を聴いたり、自ら朗読したりする事も大好きでした。物語や詩を声に出して読むと、すーっと心が落ち着いて本の世界に入り込み、心の中で言葉が躍るように感じるのは幼い頃の体験が影響しているのではと思います。

幼い頃、お盆やお正月には必ず母方の祖父宅へ親戚一同が集まりました。9人兄弟の母の祖父宅の集まりは、それはそれは賑やかで同年代の幼い従妹たちも大勢いました。焼酎で上機嫌になったその席で、祖父の『桃太郎』の語りが始まるのです。「むかしむかしのその昔、またまたむかしのその昔、そのまたむかしのその昔、そのまたむかしのその昔…」祖父は大変ユーモアのある人で、大きな目をくりくりさせながら身振り手振りで桃太郎を語ってくれるのですが、その語り始めの「むかしむかし…」が酔いも入っているからか、かなりずっと続くのです。「むかしむかし…」と祖父が語り始めると周りに集まった沢山の孫たちはいつ物語の本題に入るのかとじっと祖父の口元を見つめます。それを祖父は楽しんでいきます。何回も何回も続いた「むかしむかし…」の後やっと「あるところに…」が始まると孫たちが歓声を上げるのです。もちろん桃太郎は知っているはずですが、祖父の『桃太郎』は特別でとても面白くて何度聞いても飽きなかったものです。

また、家では夕飯後に表の客間でよく本読みごっこを楽しんでいました。まず、姉が最初に物語を読み始め引っかけたら続きを私が読むというわけで、交互に一つの物語を読んでいたのです。家には『世界文学全集』や『壺井栄

作品集』が何故か子ども部屋ではなく客間の書棚に置いてありました。三つ上の姉は本読みが上手で、気持ちを込めて読む姉の声をじっと耳を澄ませて聞いたものです。姉が言葉に詰まると今度は私の番です。つかえないようにと慎重に気を配りながら読み進めていきました。『エンドウ豆の上に寝たお姫さま』『小公女』『柿の木のある家』『二十四の瞳』といった物語を好んで読んだのを覚えています。テレビを子どもが勝手に観られる時代ではなかった昭和の夕飯後の懐かしい思い出です。

高校時代は『詩とメルヘン』を毎号楽しんでいました。アンパンマンでおなじみの「やなせたかし」編集の雑誌です。やなせたかしの表紙イラストや「葉祥明」「おおた慶文」など美しいイラストにいろいろな作家の詩が音楽のようにあふれていて、何回も読み返して楽しみ、投稿する勇気がなかった私は自作の詩を書いて満足していたものです。リズムの良い谷川俊太郎の詩も大好きで『生きる』など良く声に出して読んでいました。詩集『はだか』の購入時、本人にお会いした際、まるで同じ世界にいるとは思えない仙人の様なその佇まいに感激し、ぼおっと立ち尽くしていたのを覚えています。

学生の皆さんには読書と共にお気に入りの詩や物語の朗読を是非お勧めします。声に出して読むことで更に読書の楽しみが増え、きっと世界が深く広がっていきますよ。



本と鹿児島

デザイン表現コース 准教授 西田 一豊 (日本近現代文学)



鹿児島に戻って半年以上が過ぎた。私の実家は阿久根市なので、盆と正月には帰省していたのだから、鹿児島がまったく新鮮だという感慨があるわけではない。よく知っている言葉が、よく知っているイントネーションで語られる、よく知っている土地だ。変な話かもしれないが、私が鹿児島に帰ってきたと実感するのは、人や町の風景ではなく、空の色や雨のにおい、あるいは晚い黄昏時といった、ささやかな気候の一瞬だ。そんなものはどこでも一緒だろうと思われるかもしれないが、でも実感として全然違う。その土地の色や空気やにおいは代替がきかない。もちろん、そこには私の記憶も混じっているはずだ。『失われた時を求めて』のマドレーヌでないが、鹿児島に帰ってきてから、ふとした瞬間に、忘れていた記憶が蘇りそうになったことが何度かあった。といっても、鹿児島市に暮らすのは初めてで、まだ見慣れない桜島の風景には、新鮮さと懐かしさという相容れない気持ちが混じっている。

鹿児島市は私にとって本を買いに行く街だった。私が高校生だった頃、阿久根市には本屋がひとつしかなく、またそこは雑誌やコミックを中心に置かれた本屋だった。その頃、欲しかった文庫本、例えば新潮文庫の太宰治の小説や、角川文庫の寺山修司など、どうしても品揃えに限界があった。もちろん、図書館で借りればよいかもしれないが、返却期限があるとどうも落ち着かず、いつでも持ち運べる文庫本がどうしても欲しかった。あるいは、私が電車通学だったことも理由にあるかもしれない。今では、インターネットを使って好きな本を好きな時に買える時代になった。でも、その頃はそうではなく、数冊の文庫本を求めるため、私は電車で片

道2時間かけて鹿児島市にやっていた。現在ではなくなってしまったが、その頃の天文館には金海堂があり、私の記憶では2階か3階のフロア自体が文庫本のフロアだった。私にとっては夢のような風景だった。品揃えの豊富な大きな本屋に対する憧憬は、その頃に生まれたのかもしれない。

大学に進学するため、千葉に移り住んだが、大きな本屋に対する憧れは変わらなかった。池袋のジュンク堂、新宿の紀伊国屋書店、渋谷のブックファースト、神保町の三省堂書店など東京都内の大型書店に千葉から通った。特に好きだったのは八重洲にある八重洲ブックセンターだ。都内の大学で学会があった帰りなど、降りる必要のない東京駅でわざわざ下車し、八重洲ブックセンターに行った。地下1階から地上8階まで本で埋め尽くされたそのビルは、都会の隙間に立つビルと外観は変わりがなく、だからこそ一層その本屋に愛着を持った。

今は必要な本はインターネットで買うようになった。それでも本屋に行くし、多くの本が並んでいる風景にはわくわくする。それは図書館でも変わらない。ここ、純心短大図書館の蔵書の豊富さには驚くし、またもっと知られてよいと思っている。例えば改造社の『現代日本文学全集』、通称「円本」が貸し出し可能な状態で揃っていることなど、どれくらいの人知っているのだろうか。状態のいい「円本」が借りられる図書館なんてそうそうない。



学生図書委員の活動報告



1年間図書館に関する様々な活動します

- ・図書館内整理作業
- ・テーマ展示
- ・図書館広報活動
- ・館内清掃 etc.



委員長



英語科2年
K. M.

私が図書委員長になったのは、やったことのない役職にチャレンジしてみようと思ったのがきっかけでした。図書館業務に携わり、本を探すときにすぐ見つけれられるのは図書委員や先生方が綺麗に並べてくれているからだと思いました。また、館内入口におすすめの本のコーナーを季節ごとに展示し、紹介するのも活動の一つです。学科や学年を越えた活動を通し交流することで、良い経験になりました。

図書館には多種多様な本があるため課題で扱う本を見つけ、自分の知らない世界に踏み込むことができます。他にも、多言語の学びを深められるDVDや静かな環境で勉強に集中できます。

皆さん、これからも図書館を頻繁にご利用ください！

副委員長



デザイン表現コース2年
N. A.

私は、本と本に囲まれている空間が好きで、1年生から図書委員をしています。活動の中で、一番好きなことは展示作業です。季節や時期にあったテーマ展示をおこないます。デザインを考え、飾り付けや本のポップ作成をすることがとても楽しく、また、自分が紹介した本が借りられていることを知ると「おすすめしてよかった！」という、やりがいのようなものを感じました。

私のおすすめの本は、フランツ・カフカの『変身』、エドワード・ゴーリーの『ギャッシュリークラムのちびっ子たち』です。どちらもダークで少し不気味な内容ですが、一度読み始めるとやみつきになるのでおすすめです。ぜひ図書館で、お楽しみください。

書記



デザイン表現コース1年
O. K.

図書委員になってから、雑誌の排架作業や、書架整理など様々な活動を行ってきましたが、中でも特に頑張った活動は、季節ごとに変わるおすすめ本紹介の展示です。デザイン表現コースで日頃から学んでいることを活かし、たくさんの人に興味を持ってもらえるような飾り付けを心がけました。4人チームで協力し設営した展示コーナーはいろんな方に褒めていただき、たくさんの人に本を借りてもらえたのでとても嬉しかったです。

また、最近の活動としてはより多くの人に図書館に来てもらうために、新しいイベント開催の準備をしています。日頃の授業や課題をしながらの準備で思った通りに進まず大変なこともあります。みなさんに楽しんでもらえるようなイベントにしたいので頑張ろうと思います。

展示活動

テーマ展示

学生図書委員12名が3班に分かれ、3カ月ごとの工夫をこらしたテーマ展示を行っています。テーマにそった書籍を全員で2冊ずつ選び、POPを付けてアピールをしています。図書館入口に展示されている人気コーナーです。

クリスマス展示

イエス・キリストの降臨を待ち望む「待降節」にあわせ飾りつけを行いました。



「バズリ本！」(6-8月の展示)

～これを読めばあなたも時のひとに!?～

英語のbuzzが語源となった新words。
「バズる」＝「SNSで話題になる」をいかした展示が見事にヒットし、これまでにない貸し出し冊数につながってくれました。

「気分が上がる本」(9-11月の展示)

～後期もがんばろう!～

華やかな飾りつけに見ているだけで元気をもらう展示となりました。抜群のアイデアを發揮し後期スタートを盛り上げてくれました。最後は気分が上がるポーズで写真をパクリ!



「ほっこりあたたまる本」(12-2月の展示)

寒い時期に心の中から温まる優しい本が集結しました。大きな手袋を前面にもってきたキュートな展示と本の配置が合わさり、一番の団結力で仕上がった、素敵な感性に驚かされました。

CHRISTMAS



データベースを 活用しよう

図書館ホームページ内にある「資料検索」をクリックすると
あなたの手助けをするデータベースが満載です！

●その中の一部をご紹介します●

レポート作成や卒論に



【どこからでも検索可】

図書だけでなく日本の学術論文(学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベース)などの学術論文情報も検索できます。本文へのリンクがある論文はリンク先のサイトで閲覧可能です。

注)CiNii Articles - 日本の論文をさがすは、2022/4/18にCiNii Researchに統合されました。

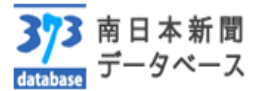
食と農を知りたい時は

ルーラル 電子図書館

【学内専用】

一般社団法人農山漁村文化協会(農文協)が運営する農業情報提供サイトです。農や食についてのホットな話題から、料理名を入れるだけで詳細なレシピ紹介等もあります。また図書や雑誌の収録作品から検索することも可能です。

課題・就職活動に



【学内専用】

南日本新聞に掲載された記事を検索・閲覧できるサービスです。政治・経済・文化など多方面にわたる情報や「南風録」等のコラム検索も可能。就活前に受験する企業を検索してみたら、ライバルより一歩リードできる情報も!? 要見です!



デザイン表現コース
「西田 一豊 准教授」による展示

「テーマを楽しむ展示」

図書館入口では
教員の先生方による
ミニ展示を
行っています!

展示にご協力
いただける
先生方を
随時募集中です!



森木先生&西田先生による初コラボ「クリスマスがやってくる」



こども学専攻「森木 朋佳 准教授」によるテーマ展示の数々



イベントのご紹介

多読賞

前期・後期の年2回
貸出冊数が
上位30名の方に
オリジナルバッグ
プレゼント!



クリスマスクイズ

毎年11月下旬頃
図書館員で考えた
“超難問クイズ”に
参加提出した方に
プレゼント!



magazine

「雑誌コーナー」では約150種類の多種多様なジャンルを取り揃えています。授業に関連する内容のものは勿論のこと、就活や編入に役立つ最新情報も！
過年度分のバックナンバーは、4階に保管してあります。こちらも要チェック！
雑誌一覧リストの詳細は、学生支援サイト「図書館」から確認ができます。

●雑誌貸出期間－4日間－(最新号は貸出不可)●



『新聞ダイジェスト』(月刊)
新聞ダイジェスト社
新聞6紙の主要記事を項目別に整理して掲載。時事問題、社会事象の学習や整理に最適です。増刊号には小論文対策やポイント、チェックテスト等あり。就職・資格・公務員試験も対応しています。



『AERA』(週刊) 朝日新聞出版
「人」へのフォーカスで、政治・経済・事件・文化・芸能・スポーツから生き方、働き方までカバーし、時代の気分をすくい上げながら独自の視点を提示しています。実用性の高いテーマに取り組み、異なる方向から光を当て、レポートしています。



『AIR STAGE』(月刊) イカロス出版
航空関係の採用情報や就活情報が満載。合格エントリーシートの書き方や、グループ面接・個人面接の突破ポイントの攻略法など。航空関係の就職を目指している人は要必見！



『英語教育』(月刊) 大修館書店
英語教育と関連分野の最新情報提供の専門誌です。アナログ・デジタルを活かした児童・生徒に響く教材づくりなど、授業活用の情報が満載。



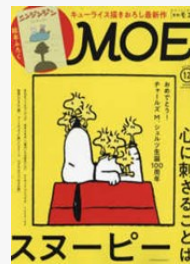
『TOEIC Test プラス・マガジン』(隔月刊) リント出版
スコアを上げたい人、英語力を伸ばしたい人に役立つ学習誌。毎号TOEICの完全模擬問題(全200問)が掲載。パート別強化特集あり、コラムあり。楽しく身につきます！



『学校給食』(月刊) 全国学校給食協会
全国の特色ある給食や季節・行事に合わせた献立の紹介。美味しい集団食の作り方や、詳細な献立研究の説明等も。衛生管理の具体的な改善事例や意識の高め方。指導資料集付き！



『新幼児と保育』(季刊) 小学館
保育と現場ですぐに役立つ幼児教育誌。0歳児から5歳児までのすべての子供にかかわる保育者を対象とした総合保育誌です。詳細な保育とカリキュラムの指導計画や年間計画も。ぜひ参考に！



『MOE』(月刊) 白泉社
絵本のある暮らしを提案する月刊誌。人気の作家紹介や話題の絵本の紹介も。その他、アート・旅・映画・ハンドメイド雑貨等、旬の情報も満載！

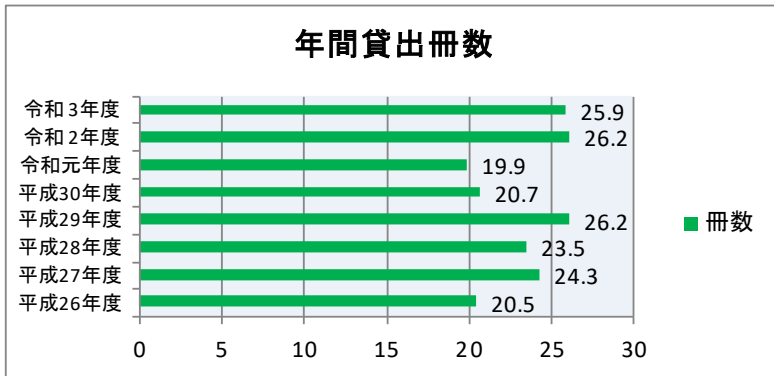


『Wedding BOOK』ムック
ドレスの魅力が伝わる美しいビジュアルページとわかりやすい基礎知識が満載！ ライン&素材、ヘア&メイク、会場に似合うデザイン、ヘッドドレス…等の紹介もあります。



『装苑』(隔月刊) 文化出版局
国内外を問わず、ファッション周辺の最新情報を網羅し発信。メジャーなデザイナーの斬新なファッションの紹介やブランド取材も。特集ではファッションを主軸に、アートやカルチャーを紹介したページも満載！

年間貸出冊数



令和3年度の総貸出冊数は9,177冊でした。1人当たりの貸出冊数**25.9冊**と昨年を下回りました。コロナ禍で遠隔授業の影響もあるかと思えます。全国平均は約4.1冊ですのでかなり高い数字となりました。

授業での活用やレポート作成、ホッと一息つきたくなったらぜひ、図書館をご利用ください。

●学科・コース別●

1位	英語科1年	62.5冊
2位	子ども学専攻2年	38.8冊
3位	食物栄養専攻2年	24.2冊
4位	食物栄養専攻1年	22.2冊
5位	英語科2年	21.6冊

図書購入依頼・相互利用

令和3年度の図書購入依頼（リクエスト）、他大学への貸借・文献複写依頼・受付の件数は以下の通りです。来年度も引き続きご利用ください。

- 図書購入依頼・・・13件（学生リクエスト）
 - 他大学図書貸借依頼・・・90件（内訳：学外1件/学园内89件）
 - 他大学図書貸借受付・・・253件（内訳：学外5件/学园内248件）
 - 他大学文献複写依頼・・・1件
 - 他大学文献複写受付・・・12件
- （集計：2021年4月1日～2022年3月31日）

春休みの長期貸出をご利用ください

貸出スタート

令和5年1月17日(火)

返却日

2年生→3月17日(金)

1年生→4月3日(月)

教員執筆本

三島盛武 名誉教授
（研究分野：郷土文学）



書籍『身近に見た島尾敏雄先生』
時代屋書房

昭和を代表する作家島尾敏雄。晩年は本校で教鞭を執り図書館長も務められました。当時同僚として共に勤務し、最後まで寄り添った三島名誉教授のみ知り得た、貴重な内容が詰まった一冊です。

子ども学専攻・益満孝一 教授
（研究分野：児童福祉、子育て支援、教育相談）



書籍『精神保健福祉援助演習(専門) 第3版/坂野憲司, 福富律責任編集』
弘文堂

いつも研究熱心な先生。興味深い事例を発表なさっています。

デザイン表現コース・西田一豊 准教授
（研究分野：日本近現代文学）



書籍『坂口安吾大事典』
安藤宏, 大原祐治, 十重田裕一編集代表
勉誠出版

参加執筆150名以上の中のお一人として執筆されています。研究者の思いが詰まった一冊です。

卒業後も利用できます

卒業後も学生時と同じように
図書館を利用できます

■お知らせ■

新型コロナウイルスの影響の為一般の方はお断りしている期間もあります。来館前にご連絡をお願いいたします。

●おことわり●

一部掲載写真は撮影の際のみマスクを外してもらいました

編集後記

新型コロナの流行から3年目。収束するかに思えた矢先、ウイルスも数々の変異を遂げ、一日の県内新規感染者は、過去最多の5千人を突破した。だが私達は、ひるむことなく前へと進み「ウィズコロナ」と言う新たな局面を迎えた。

鹿児島市は4月、繁華街の再開発ビルの中に「天文館図書館」をオープンし、電子書籍の貸出もスタートさせた。これを皮切りに薩摩川内市や鹿屋市の図書館も電子書籍の提供を始めた。本校でも、図書館資料収集方針の中に「…この収集方針に電子書籍も含まれる。」との文言が加わり、この基準は令和4年12月15日から施行され、新たな幕開けを迎える年となった。

そしてこの図書館だよりも節目の「50号」を迎え、進化する未来と共に変わらない人の優しさに支えられながら無事に発行に至った事に感謝を申し上げます。